

講義名	日本語C（書く）【留学生科目】			授業形態	
担当教員	西馬 薫	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 1時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

・読み手を意識した論理的な文章の表現方法を身につける。
 ・200字の意見文からレポート作成まで段階を踏んで、日本語の文筆力を身につける

到達目標

・レポート作成に必要な基本的な知識がわかるようになる。
 ・読み手を意識したわかりやすい文章が書けるようになる。

提出課題

授業内に指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題提出後、個別のフィードバック及び授業内に全体へのフィードバックを行う。

評価の基準

提出物、課題（40%）、レポート（40%）、授業参加度（20%）による総合評価を行う。

履修にあたっての注意・助言他

・出欠は毎回とる（5回以上欠席した場合は、単位を認定することができない）
 ・グループワーク等を交えながら授業を進めるので、主体的に取り組んでもらいたい。

教科書

.使用しない。				
---------	--	--	--	--

参考図書

.大学で学ぶための日本語ライティング.	佐々木理枝・細井和代・藤尾喜代子	the Japan times	1980	9784789012218
.改訂版日本語の論文力練習帳.	齋八眼子	古今書院	2600	9784772261173
.新訂版留学生のための論理的な文章の書き方.	二道信子・佐藤不二子	スリーエーネットワ ク	1400	9784883198429

その他

授業内に資料を配付する

授業計画

- オリエンテーション、スケジュール、評価について
- レポートに使われる文体
- 段落
- 意見文の表現
- 意見文（200字で述べる）
- 意見文（200字で述べる）
- 解決策を述べる（400字-500字で述べる）
- 解決策を述べる（400字-500字で述べる）
- 要約をする
- レポートを書くための基礎知識
- レポートを書くための基礎知識
- レポート作成準備
- レポート作成準備
- レポート作成準備
- レポート作成準備
- レポート構成案発表、レポート提出について注意事項

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

【予習】
 事前に配布された資料に目を通し、語彙等の意味を確認しておく（2時間）
 【復習】
 フィードバックを行った課題について、日本語の表現やその内容を確認しておく（2時間）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

留学生を対象とした科目群で、論理的文章を書くことを目標にし、知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材を育成する科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

教師への質疑応答の時間を設けると同時に、学生同士の対話の機会も設ける。

実務経験の有無及び活用

備考